

# 生駒市耐震改修促進計画の概要

「市民の生命と財産を守る」という重要な使命を果たすため、生駒市は既存建築物の耐震診断および耐震改修を計画的に促進し、地震に強い安全・安心な地域社会を、生駒市民のみなさんと一体となって築いていくものです。



「生駒市耐震改修促進計画」  
生駒市HPへ



## ●計画の基本方針

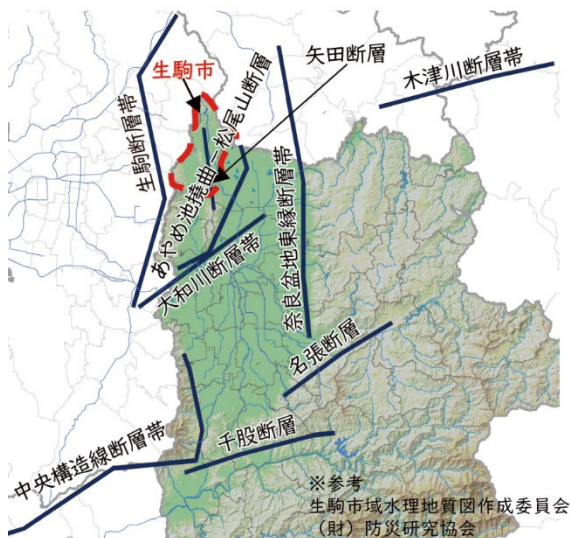
- ◆「生駒市周辺に地震断層が存在する」「自らの命や財産は自らを守る」ことを理解していただき、自助・公助・共助のバランスに配慮しつつ、住宅・建築物の耐震化を進めていきます。
- ◆生駒市は、市民が耐震診断・耐震改修を行いやすいよう、負担軽減のための制度の推進など必要な施策を引き続き行っていきます。

## ◆生駒市に影響を与えると思われる想定地震（内陸型地震と海溝型地震）

日本国内では「いつ」「どこで」大規模な地震が発生してもおかしくない状況にあります。

さらに、東日本大震災を上回る被害が想定される南海トラフによる海溝型巨大地震は、今後30年間の発生確率が70%~80%とされており、生駒市においても大きな影響が予測されています。

また、生駒市周辺には、生駒断層帯や奈良盆地東縁断層帯等の断層が位置し内陸型地震に対しても、地震による被害を軽減するための早急な住宅・建築物の耐震化を進めていくことが必要です。



内陸型地震（直下型地震）



海溝型地震

# 地震 生駒市 地

## ハザードマップ

### 建物危険度マップ

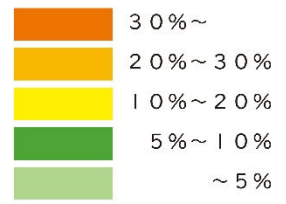
#### 建物危険度マップとは

この「建物危険度マップ」は、生駒市に最も影響が大きいと予想される生駒断層帯を震源とする地震での50m×50mのエリア毎の建物倒壊率を示したものです。

建物倒壊率 = 倒壊棟数 / 全棟数

赤色に近づく程エリア内の建物倒壊率が高いことを示しています。

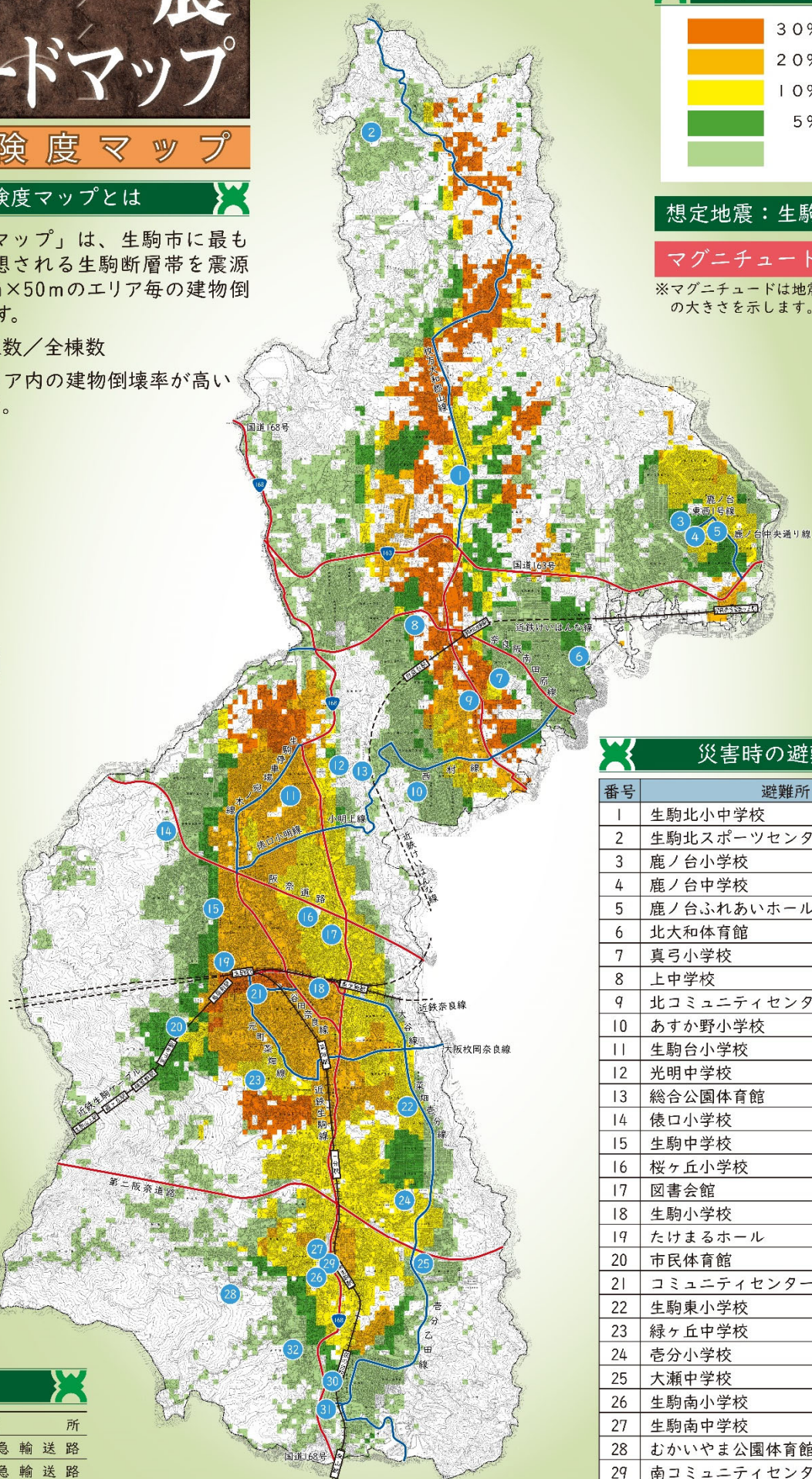
#### 建築物の倒壊率



想定地震：生駒断層帯

マグニチュード：7.5

※マグニチュードは地震のエネルギーの大きさを示します。



#### 災害時の避難所

番号	避難所
1	生駒北小中学校
2	生駒北スポーツセンター
3	鹿ノ台小学校
4	鹿ノ台中学校
5	鹿ノ台ふれあいホール
6	北大和体育館
7	真弓小学校
8	上中学校
9	北コミュニティセンターISTAはばたき
10	あすか野小学校
11	生駒台小学校
12	光明中学校
13	総合公園体育館
14	俵口小学校
15	生駒中学校
16	桜ヶ丘小学校
17	図書館
18	生駒小学校
19	たけまるホール
20	市民体育館
21	コミュニティセンター
22	生駒東小学校
23	緑ヶ丘中学校
24	壺分小学校
25	大瀬中学校
26	生駒南小学校
27	生駒南中学校
28	むかいやま公園体育館
29	南コミュニティセンターせせらぎ
30	生駒南第二小学校
31	井出山体育館
32	小平尾南体育館

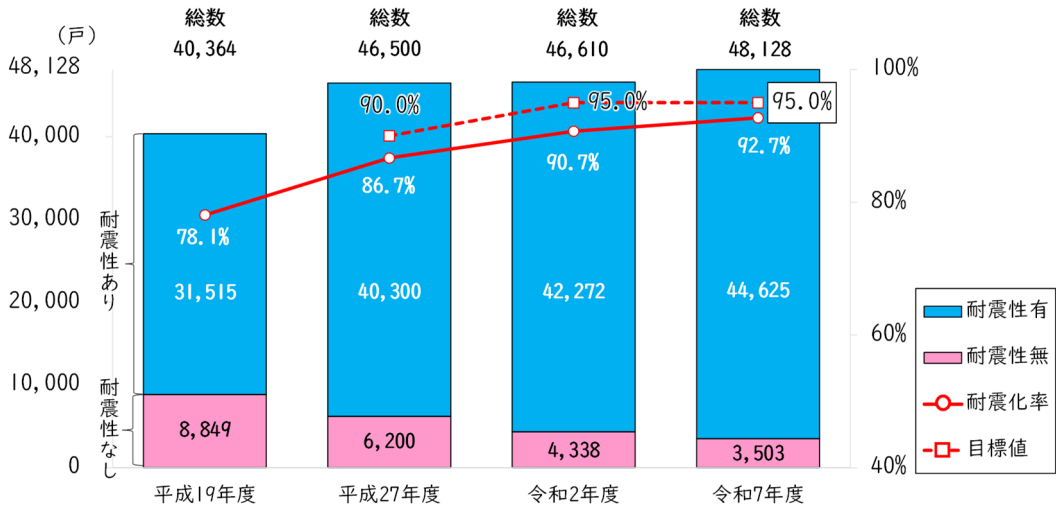
#### 凡例

- ① ~ ③② 避難所
- 県指定緊急輸送路
- 市指定緊急輸送路
- +++++ 鉄道
- ケーブル
- 行政界

0 500 1,000 1,500 2,000 m

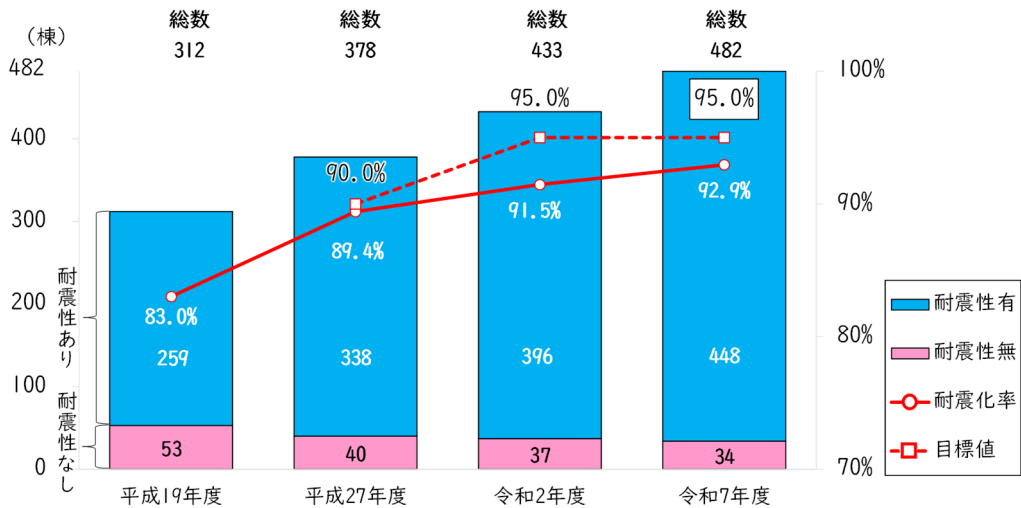
# 住宅の耐震化の現状と目標

本市においては令和7年度における住宅の耐震化率の目標を95%と定め、様々な施策の推進によって耐震化率の向上を図ることとします。



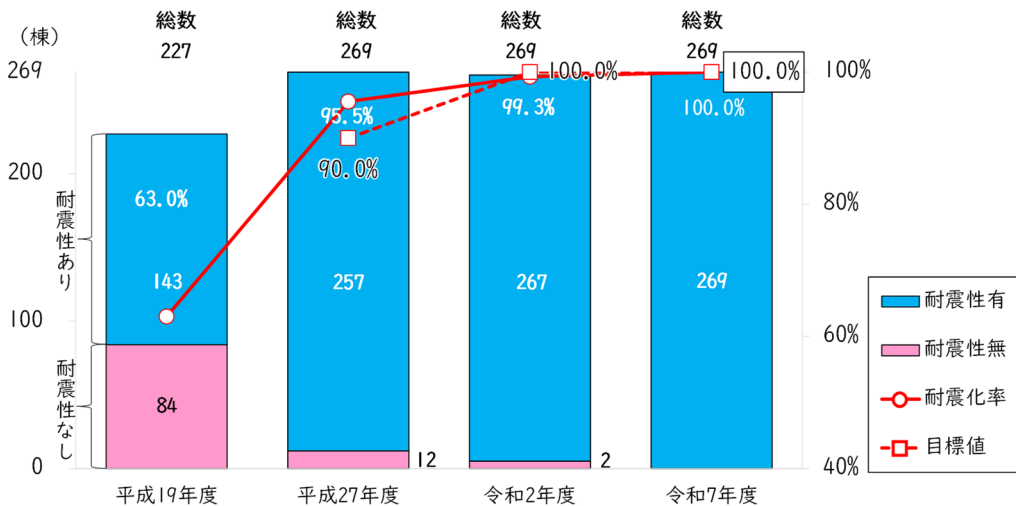
# 多数の者が利用する建築物の耐震化の現状と目標

本市においては令和7年度における多数の者が利用する建築物の耐震化率の目標を95%と定め、様々な施策の推進によって耐震化率の向上を図ることとします。



# 市有建築物の耐震化の現状と目標

本市においては令和7年度における市有建築物の耐震化率の目標を100%と定め、全ての市有建築物について耐震化を図ることとします。



# 耐震化を促進するための取組

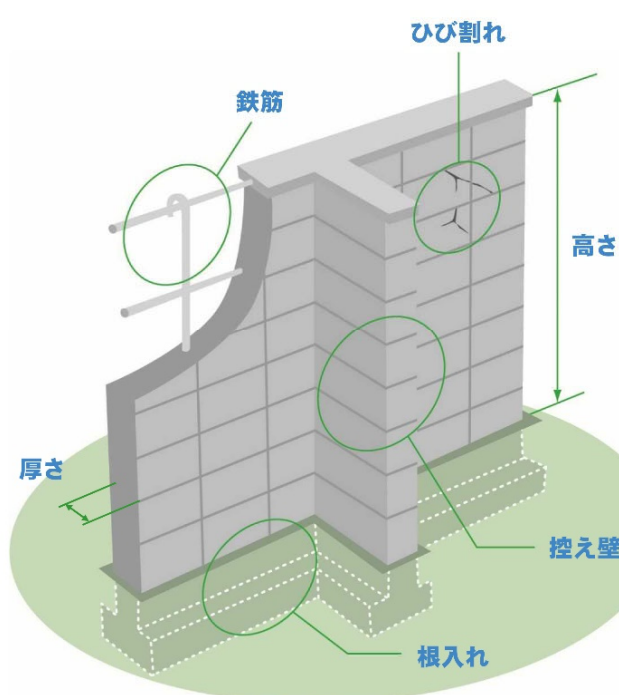
	補助対象	補助額
既存住宅 耐震診断補助	主に平成12年以前に建てられた耐震性の低い住宅	費用の3分の2 (上限2万円)
既存住宅 耐震改修補助	主に平成12年以前に建てられた耐震性の低い住宅(要診断)	費用の3分の1 (上限50万)
既存住宅 解体補助	主に平成12年以前に建てられた耐震性の低い住宅(要診断)	費用の23% (上限50万)
ブロック塀等 解体工事補助	道路等に面する高さが80cm以上のブロック塀等の除却	費用の2分の1 (上限15万)

「補助制度の詳細へ」  
生駒市HPへ



## あなたの家のブロック塀は大丈夫ですか

### ブロック塀の点検のチェックポイント




ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。  
まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか
    - ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
  - 2. 塀の厚さは十分か
    - ・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合には15cm以上)
  - 3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)
    - ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
  - 4. 基礎があるか
    - ・コンクリートの基礎があるか。
  - 5. 塀は健全か
    - ・塀に傾き、ひび割れはないか。
- <専門家に相談しましょう>
- 6. 塀に鉄筋が入っているか
    - ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
    - ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

出典：  
パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1より一部改

### <問い合わせ先>

 **生駒市** 生駒市 都市整備部 建築課  
〒630-0288 奈良県生駒市東新町8番38号  
TEL：0743-74-1111 (代) FAX：0743-74-1221 (令和3年3月)